

## これまでの我が国の宇宙開発政策の総括について

平成 18 年 6 月 23 日  
宇宙開発委員会事務局

平成 15 年の長期計画の策定から平成 18 年 6 月までに我が国の宇宙開発体制を取り巻く環境は大きく変化したが、長期計画の策定当時においては、以下の点において必ずしも十分に環境の変化を見通すことができなかつた<sup>1</sup>ものと考えられる。

### ① 宇宙開発への国民・社会の支持・関心の低さに対する危機感の不足

平成 12 年度より JAXA 予算の削減が始まったが、特に、平成 13 年 3 月に第 2 期科学技術基本計画が策定されて以降、大幅な予算増が行われた重点 4 分野（ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料の 4 分野）に比べ、存立基盤 4 分野（エネルギー、製造技術、社会基盤、フロンティアの 4 分野）に位置づけられた宇宙や原子力といったビ

<sup>1</sup> 「平成 15 年に良い計画を立てたが、環境が変わったので成果が少なかった。」と主張するのは、いささか身勝手であろう。また、「国民・社会の指示・関心の低さ」「信頼性確保の認識の不徹底」「官民の連携・協力への過度の期待」の 3 つを「環境の変化」と言っている。

ッグサイエンスについては、予算の削減が予想以上に進められた。具体的には、平成 11 年度の 2,259 億円から、平成 17 年度 1,765 億円へ約 500 億円もの削減があり、このため、コスト節減に努めても、当初想定していたプロジェクトの進捗を期待することができなくなる事態となった。

その背景としては、現行の長期計画の策定時においては、国民・社会の支持・関心を背景にした宇宙予算の維持・拡大が続くとの認識だったが、平成 15 年のロケット・衛星の相次いだ不具合が発生したこと及び宇宙開発、利用による便益を国民、社会へ還元するという目的を十分にアピール<sup>2</sup>できなかったこと、更には、そうしたこともあって国民・社会の宇宙開発に対する支持・関心が予想した程には得られていなかったことなどがあるものと推測される。

### ② 信頼性確保の認識の不徹底

平成 15 年の現行の長期計画の策定時には、H-IIA ロケットの打上げも順調に進められ、ようやく H-II ロケット 5 号機及び 8 号機の失敗から立ち直りつつある時期であったが、計画策定直後から衛星の不具合が相次ぎ、平成 15 年 11 月には情報収集衛星を搭載した H-IIA ロケット 6 号機の打上げに失敗した。ロケット・衛星で発生した不具合は双方ともに、技術としては確立されたと思われていた箇所<sup>3</sup>が生じ

<sup>2</sup> アピールの必要が無いことはないが、何のために宇宙を利用する技術を磨くのかと言う目的を共有するのが先決である。

<sup>3</sup> 「管理する」と言う気持ちで取り組む部分。

ているものであり、これまで蓄積してきた技術的基盤に対する過信があったのではないかと考えられる。

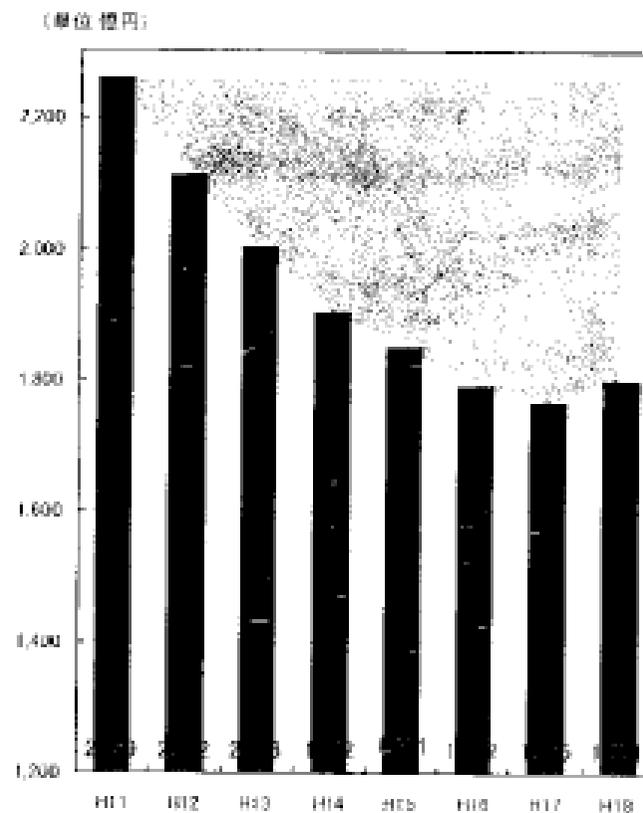
また、現行の長期計画では『(3) プロジェクト管理』において信頼性向上が触れられているものの、信頼性の向上とコスト低減の両立という困難な、場合によっては相反する関係にある2つの目標を同時に目指したため、信頼性確保の認識が不徹底であった。このように強い技術的基盤に支えられた、信頼性の向上に対する厳しい認識が必ずしも十分ではなく、とりわけ、信頼に耐え得る技術基盤は未だ十分には確立できていないという危機感の希薄さがあったのではないかと考えられる。

### ③ 官民の連携・協力への過度の期待

現行の長期計画では、信頼性の向上やコスト低減を狙いとして官民共同プロジェクトを提唱したが、実際には、想定していたほど民間の活力<sup>4</sup>を活用することはできず、具体のプロジェクトにおいて計画の遅れや大きな方針変更などが生じる事態となった。

これは、民間の活力を過大に評価し、官と民の役割の定義が必ずしも十分ではなかったために、民間活力を引き出すために国として果たすべき責任と役割が明確でなかったこと、すなわち、本来的には国が整備すべき基盤が十分に確保されていない段階で民間の活力を引き出そうとしたことが原因として考えられる。

### ○JAXA 予算の変化



### ○平成 15 年度の各種プロジェクトの不具合

- 10月 25日 環境観測技術衛星「みどり」(ADEOS-II) 異常発生
- 11月 29日 H-IIA ロケット 6号機打上げ失敗
- 12月 9日 火星探査衛星「のぞみ」火星周回軌道への投入断念決定

<sup>4</sup> 川柳：活力とはお金のことかと民が言い